

一般質問

重要な課題と考えています。

質問 災害に強い町づくりを目的するためには、災害時に物的被害、人的被害を軽減する取り組みが、重要と考えます。そのためには、防災組織の強化を図ることと、指定避難所の充実が不可欠であります。自主防災組織の普及と、指定避難所の整備計画など、防災計画の見直しについての考えを伺います。

市長 自主防災組織の結成状況は現在251組織で、世帯加入率で76・1%になっています。今後、組織されていないところは、積極的に立ち上げを図っていくとともに、指導については、すべての組織を対象とした訓練を行なうなど、地域の実情に合った、育成活動を推進して参ります。避難所については、拠点避難所と一時避難所に再分類し、耐震基準に適合していない避難所は、他の施設を指定する等、整備を行なっていきます。



おの 隆夫
小野 寺 隆 夫

○協働のまちづくりについて
○公民館の廃止について

質問 本市においては今年度から

協働のまちづくり交付金を創設し、市内30地区の各振興会を対象として協働のまちづくりの具体的な取り組みがスタートしました。それらの現状や、市としての支援体制について伺います。

市長 まちづくりの交付金の活用状況について、11月末現在で、30地区振興会中22団体、交付金ベースで46%の申請となっています。主な活動は、自主防災組織の育成や読書活動の推進、観光資源の情報発信など、地域の特性を生かした活動が芽生えています。市としては地域の活動を支援するため、地区センターからの各種相談、情報提供や助言指導、研修会の開催や体験交流など、リーダーの育成を図るとともに、行政職員に対しても研修等を通じて、協働意識の醸成に努めて参ります。

質問 本市においては平成24年度からすべての公民館を廃止して、地区センター化の完全実施に入ります。このことにより、住民サービスにどのような影響が考えられるか。また、社会教育の推進体制をどのように考えているかについて伺います。

市長 公民館を地区センター化することによる住民サービスへの影響について、デメリットはないもの

のと思っています。

教育委員長 社会教育の推進体制について、教育委員会事務局の本庁と各支所に、(仮称)生涯学習推進センターを設置し、地域事業が円滑に実施できるよう、市長部局との連携により全市的な生涯学習の推進を図って参ります。



日本初の公民館 後藤伯記念公民館

○史跡の整備活用について
○奥州市ブランドについて
○農協事業への支援について



こばやし まさふみ
千 葉 正 文

質問 平泉に来ている観光客を奥州市へ導くためにも、胆沢城、前九年・後三年の役などの平泉につ

ながる市内の古代史跡を整備活用すべきと考えますが伺います。

教育委員長 中央政権の蝦夷支配の拠点となった胆沢城から始まり、アテルイ・モレ、安倍氏・清原氏につながる平泉への歴史背景があります。この歴史ドラマの源である胆沢城の整備を核として、今後、市内史跡の整備を進めます。

質問 奥州市の新しいブランドづくりを市民参加型で取り組むことで、市民が地域を理解し誇りを持ち、交流人口の増加などの効果もあり、地域の活性化にも繋がります。市長の考えを伺います。

市長 地域で自慢できるもの、おいしいものや特産物などブランド化の可能性を持つものはたくさんあります。『リングワイン』奥州



奥州市ブランドの一つ前沢牛の枝肉共進会11/2